



国際ロータリー 第2570地区 新座ロータリークラブ会報 2019～2020年度

第1785号

NIIZA Rotary weekly

令和3年6月24日 発行

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク 『ロータリーは機会の扉を開く』

第2570地区ガバナー 相原 茂吉 『友達をつくろう』

会長方針 小泉 哲也 『出逢いは財産 縁を絆に』

会長 小泉 哲也 副会長 岡野 元昭 幹事 神谷 億文



第2156回例会 6月第2週 6月10日(木)

講演会 『第9回 薬物乱用のない社会をつくるために!』

講師：NPO法人 埼玉ダルク 辻本 俊之氏

於：新座市立新座中学校



はじめの言葉 伊藤 遙



今日は薬物乱用防止教室です。私達のために、お忙しい中、NPO法人 埼玉ダルクの辻本様にお越しいただいています。また、新座ロータリークラブ様、新座こぶしロータリークラブ様からもご支援を頂いております。今回の講演会は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、オンラインでの開催になります。生徒の皆さんは、きちんとした姿勢と態度で話を聞いてください。

次第

講演「第9回 薬物乱用のない社会をつくるために！」

日時 2021年6月10日（木）13時40分～15時30分
場所 新座市立新座中学校（2年生161名）*対象は2学年生徒
〒352-0011 新座市野火止二丁目4番1号 TEL048-478-3668
議題 「薬物乱用のない社会をつくるために！」
講師 NPO法人 埼玉ダルク 辻本 俊之氏
主催 新座ロータリークラブ・新座こぶしロータリークラブ・新座市立新座中学校
後援 新座市・新座警察署・新座市教育委員会

タイムスケジュール

（敬称略）

司会進行	新座市立新座中学校2年	三島陽之介
はじめの言葉	新座市立新座中学校2年	伊藤 遥
13:45 開会の挨拶	新座ロータリークラブ会長	小泉 哲也
来賓挨拶	新座市教育委員会教育支援課 副課長	長谷川久和
臨席者紹介	新座市立新座中学校2年	十二村陵人
講師紹介	新座こぶしロータリークラブ会長	鹿毛 利久
14:00 講演	演題 「第9回 薬物乱用のない社会をつくるために！」 講師 NPO法人埼玉ダルク	辻本 俊之
15:15 おわりの言葉	新座市立新座中学校2年	伊藤 遥
謝辞	新座市立新座中学校校長	高橋 利明



今年度も取材して頂きました。ジェイコムは16日（水）6時のニュースで、埼玉テレビは、当日夕方5時のニュースで放送されました。市民新報社も取材に来て頂きました。

開催の挨拶

新座ロータリークラブ 会長 小泉 哲也



新座ロータリークラブ会長を務めさせていただきます小泉と申します。

本日、新座中学校に於いてNPO法人埼玉ダルク 辻本先生をお招きし新座こぶしロータリークラブ・新座ロータリークラブ共催により、「第9回薬物乱用のない社会を作るために！」をテーマに講演会を開催させていただきますこと、大変嬉しく思います。

コロナ禍ということで、開催までに二転三転した部分がありましたが、新座中学校高橋校長先生をはじめ教職員の皆様の「出来ないではなく、どうやったらできるか」のお考えのもと、ご準備頂いた事に心より感謝申し上げます。

一概に薬物といってもピンとこない方がほとんどであると思います。本日は、辻本先生より実体験からくる生の声を伝えて頂くことにより、学びの中では感じられなかった本当の薬物の怖さに触れて頂き、「やらない・近づかない」を改めて実行して頂くきっかけにして頂きたいと思います。

本日のこの講演会が、皆様にとって学び多き時間になることをご祈念申し上げ、挨拶に代えさせていただきますと思います。

来賓の挨拶

教育委員会教育支援課副課長 長谷川 久和

皆様こんにちは。新座市教育委員会教育支援課副課長 長谷川久和でございます。本日は、講演会「第9回薬物乱用のない社会をつくるために！」にお招き頂きありがとうございます。

本来であれば新座市教育委員会教育長 金子廣志が御挨拶させて頂くところですが、他の公務の関係で参加できないため、教育長に代わって一言御挨拶を申し上げます。

本日の講演会のテーマである薬物乱用は、薬物を乱用した本人だけの問題ではなく、家族を含めた多くの人々の人生を不幸にするものであり、絶対に許されないものです。しかしながら、令和3年3月の警察庁の発表によると、20歳未満の大麻事犯の検挙者は過去最多を更新しており、薬物乱用が生徒の皆さんのすぐそばにある深刻な問題である事を、是非自覚して頂きたいと思います。

本で行われる薬物乱用防止教室は、平成30年8月30日に厚生労働省の薬物乱用対策推進会議で決定された「第五次薬物乱用防止5か年戦略」において、学校保健計画において位置づけ、すべての中学校及び高等学校において年1回は開催するとされているものです。薬物乱用の危険性・有害性について正しい知識を身に付け、薬物乱用を拒絶する規範意識を向上させるために学んでいただきたいと思います。

終わりにになりましたが、本日御講演頂きますNPO法人 埼玉ダルク 辻本俊之様と、毎年本会を開催して下さっております、新座ロータリークラブ、新座こぶしロータリークラブに心より感謝申し上げ、教育委員会からの挨拶と致します。

本日は宜しくお願い致します。

講師紹介

新座こぶしロータリークラブ 会長 鹿毛 利久

皆様こんにちは。これから講演して頂きます、辻本俊之さんをご紹介します。

辻本先生は現在、NPO法人埼玉ダルクの施設長をされております。DARCとは、Drug Addiction Rehabilitation Center（薬物依存厚生施設）の頭文字をとった組織です。不幸にも薬物依存に陥ってしまった患者さんの厚生を支援する施設です。

本日は、先生の実体験も含めて、どのような状況から薬物依存に走ってしまうのか具体的な体験談をお話し頂きます。皆さん、今日のお話は決し

生徒さんの感想

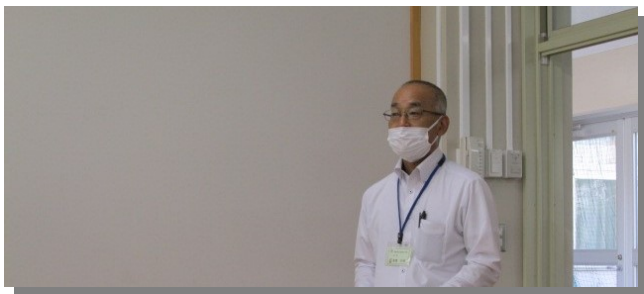
て他人事ではありません。そこら中に危険な世界が口を開けて待っていると言うことを肝に銘じてこの講演を聴いて下さい。それでは辻本先生宜しくお願い申し上げます。

おわりの言葉 伊藤 遙

辻本様貴重なお話をありがとうございました。私は今回のお話の中で、身近な薬でも使い方を間違えると、薬物乱用につながるという事を知り、驚きました。また、友人からの誘いが一番断りにくく、関係も断ち切れないことが多いから、薬物使用からも離れることができなくなるという話を聞き、たとえ友達からの誘いであってもきちんと自分の意志で断れるようになろうと思いました。

薬物の乱用を防ぐためには、基本的な生活習慣を整える事だと辻本様がおっしゃっていました。私も、普段から規則正しい生活を意識して、薬物とは関係を持たないようにしていきたいと思いました。今日のお話を忘れないように、これからの生活に生かしていきたいと思います。改めて、本日は貴重なお話をありがとうございました。

謝辞 学校長 高橋 利明



新座ロータリークラブの皆様、新座こぶしロータリークラブの皆様、本日は、薬物乱用防止教室を開催していただき、ありがとうございます。

コロナ過で中学生もだいぶストレスが溜まってきているようですが、本日、ご講演頂きました辻本様の貴重なお話を糧に、困難に立ち向かう事ができる中学生に育ってほしいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。

薬物を経験した方の実体験を聞いて、薬物は一度やったら止められない事、死亡する可能性がある事、二度ともとは戻れない事が分かりました。又、中毒性があり、危険性を知っていても、やめたいと思ってもやめられない事や友達に誘われてやってしまう人が97%もいる事も分かりました。「人間やめますか、薬物やめますか」という言葉も印象に残りました。薬物を摂取すると、色々な悪影響が起こり、望ましい生活ができなくなってしまうかもしれないので、友達に勧められても絶対に使用せず、人生の楽しみを見つけて健康に生活できるようにしたいです。薬物乱用の危険性と人生の大切さを教えて下さった辻本さん本当にありがとうございました。(1組女子)

今日の講演を通して、薬物を乱用することの怖さがよく分かりました。危険はとても身近な所にあり、もしも友達が勧めてきても断ることのできる強い精神が大切だと思いました。また、国や県、市などの自治体、辻本さんのような方やダルクのような団体が様々な取り組みをして下さることが分かったので、もし自分の身近で薬物を使用している人がいたら、相談したいと思いました。今日の講演を通して、今後の自分の生き方についても考えることができました。貴重な話をしていただき、ありがとうございました。(2組男子)

薬物乱用は、覚醒剤、コカイン、シンナーなどの違反になってしまうものだけでなく、アルコール、風邪薬、痛み止めなどをルールや規約を破って飲むことも当てはまるのだということが分かりました。一度飲んでしまうと、それは一生なおらないくらい、とても時間がかかって大変で難しいことも分かりました。辻本さんの話を聞いて、自分では絶対にやらないと思っても誘われてやってしまったとおっしゃっていたので、自分の中で強い意志をもち、誘惑があっても、しっかり断ろうと思いました。生活リズムも整えて、規則正しい日常を送ることを心がけたいです。ありがとうございました。(3組女子)

薬物は友達から勧められてやってしまうのが多いことを知りました。また、薬物をやると悪循環にはまってしまうことが分かったので、絶対にやってはいけないと思いました。もしも近くに薬物をやっている人がいたら、助けてあげることが大事だと思いました。友達に勧められても、断れるように、日頃から正しい判断ができる人になりたいと思います。今後も薬物を使用しない生活を送りたいです。(4組男子)